

上田 勉

### 高レベルの競演 第8回仙台国際音楽コンクール（ヴァイオリン部門・ピアノ部門）詳報

「協奏曲コンクール、として知られる仙台国際音楽コンクールが5月21日から6月26日まで行われ、杜の都で3年ぶりに若い音楽家たちがその技や音楽性を競い合った。コロナ禍においてアジアで初のコンクール再開となった今回、参加申し込み者数はヴァイオリン部門で135人、ピアノ部門で438人を記録。広上淳一（ヴァイオリン部門）&高関健（ピアノ部門）と仙台フィルハーモニー管弦楽団との共演で高レベルの演奏が繰り上げられた審査とその結果について、セミファイナル以降の様子を交えてレポートする。（正木 裕美）

先行するヴァイオリン部門は予備審査を経て11の国と地域から37人が会場での本審査へと進んだ。入賞者は第1位：中野りな（日本、17歳）▽第2位：デニス・ガサノフ（ロシア、27歳）とマー・ティエンヨウ（中国、21歳）▽第4位：ホン・ソンラン（韓国、21歳）▽第5位：橘和美優（日本、21歳）▽第6位：中村友希乃（日本、26歳）となった。

続くピアノ部門は12の国と地域から31人（辞退者を除く）が本審査へと進み、入賞者は第1位：ルウオ・ジャチン（中国、22歳）▽第2位：ヨナス・アウミラー（ドイツ、23歳）▽第3位：太田糸音（日本、22歳）▽第4位：ジョンファン・キム（ドイツ、21歳）▽第5位：キム・ソンヒョン（韓国、19歳）▽第6位：ジョージ・ハリオノ（イギリス、21歳）となった。筆者は過去2回コンクールを取材しているが、ピアノ部門はその中でも群を抜いてレベルの高さが際立った。」（「毎日新聞」2022年7月12日12:00）

#### 【第8回仙台国際音楽コンクール】

ヴァイオリン部門：5月21日（土）～6月5日（日） 第1位：中野りな（日本）

ピアノ部門：6月11日（土）～26日（日） 第1位：ルウオ・ジャチン（中国）

会場：日立システムズホール仙台

指揮者：広上淳一（ヴァイオリン部門）、高関健（ピアノ部門）

管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団

私は、ボランティアをしました。役割は、出場者へのサポートです。①演奏者の登録では、仙台市の地図（地下鉄）を渡して、会場と練習場への行き方を案内しました。どこで食事をしたらよいかという出場者の質問に対して、他のサポーターは仙台駅の牛タンと寿司の店を言いました。一方、私は海外の貧乏旅行を思い出して、イオンに行けば弁当やフードコートがあって、more cheapだと説明して、感謝されました。②演奏を聴いた聴衆が演奏者に感想や激励の言葉を書きます。それを、日本語から英語やハングル語に翻訳しました。③演奏者の出番が来たら、控室まで迎えに行きました。④ピアノの練習会場で、出場者に案内をしました。ヴァイオリンは、周りを気にしなければ、どこでも弾けます。しかし、ピアノは練習場でしか弾けません。日本人の出場者は、本番の前日まで日本のいつもの場所で練習できます。しかし、外国の出場者は、練習場でしか弾けないので、ハンディがあると思いました。

コンクールには、ロシアの演奏家も参加しました。テレビの国際放送を見て、ロシアのウクライナ侵略の真実を知って、彼ら・彼女らはどのように思ったのか、気になります。



【ヴァイオリン部門の出場者 ピンク色の花は予選通過者、赤色の花は本選の入賞者】



【ピアノ部門の入賞者と審査委員の記念撮影 こちらの椅子席にはボランティアがいます】